

4 . 学校外の学習機会の利用と学力

①学習塾の利用と学力

通塾状況別にみると子どもの学力階層分布に顕著な差があった。学力上位層が多いのは、①「非通塾者」よりも「通塾者」、②「2日以下」よりも「3日以上」の通塾、③「補習塾」よりも「進学塾」への通塾、④「3時間未満」よりも「3時間以上」の学習をしているといった特徴を持つ子どもたちである。

Q

あなたは今、学習塾に行っていますか（そろばん、習字などの塾は除きます。「公文」のような自習教室は含めます）。

[学習塾に行っている人にお聞きします]

- ・週に何日行っていますか。
- ・あなたの行っているのは、どんな学習塾ですか。
- ・学習塾では1回に、平均何時間くらい勉強しますか。
- ・あなたが行っている学習塾は、1クラス何人ですか。

明らかに、通塾が子どもの学力に影響を与えている。

表3 - 1 - 11は、通塾の状況別に子どもの学力階層の分布をみたものである。偏差値50以上（「上位」と「中の上位」の合計）に着目して考察を進めると、算数でも国語でも2教科合計でも、「通塾者」は「非通塾者」と比べて、偏差値50以上の割合が高くなっている。

また、通塾者の中で、通塾日数が「3日以上」の子どもは「2日以下」の子どもと比べてみたときも、やはり算数、国語、2教科合計のすべてで偏差値50以上の割合が高くなっている。

さらに、通塾者の中で、「進学塾」に通っている子どもは「補習塾」に通っている子どもと比べて、ここでも算数、国語、2教科合計ともに2割以上も高い値になっている。と

りわけ、算数の学力階層別では、「進学塾」に通っている子どもは「補習塾」に通っている子どもよりも3割近く「上位」の割合が高くなっている。「進学塾」に通うか「補習塾」に通うかと算数の学力階層の間に非常に強い相関がある。

最後に、1回の通塾で学習する時間についてみると、「3時間以上」の子どもは「3時間未満」の子どもと比べて、偏差値50以上の割合がおおよそ2割高い値になっている。

以上、通塾状況によって学力階層の分布に顕著な差があり、学力上位層が多いのは、①「非通塾者」よりも「通塾者」、②「2日以下」よりも「3日以上」の通塾、③「補習塾」よりも「進学塾」への通塾、④「3時間未満」よりも「3時間以上」の学習をしているといった特徴を持つ子どもたちであった。

表3 - 1 - 11 算数、国語、2教科合計の学力階層（通塾状況別）

（％）

	算 数		国 語		2教科合計	
学習塾の利用	通塾 (454)	非通塾 (688)	通塾 (448)	非通塾 (693)	通塾 (448)	非通塾 (687)
上位	20.7	12.5	23.0	15.0	25.2	15.4
中の上位	46.9	46.2	40.0	36.7	40.8	38.4
上位 + 中の上位	67.6	58.7	63.0	51.7	66.0	53.8
中の下位	17.6	25.7	26.3	31.2	21.0	30.1
下位	14.8	15.6	10.7	17.2	12.9	16.0

以下の項目は、塾・予備校に「行っている」と答えた児童のみ回答。

	算 数		国 語		2教科合計	
週あたり通塾日数	1～2日 (293)	3日以上 (156)	1～2日 (291)	3日以上 (152)	1～2日 (291)	3日以上 (152)
上位	12.6	36.5	19.6	29.6	17.9	40.1
中の上位	50.2	41.7	38.1	44.7	43.6	36.2
上位 + 中の上位	62.8	78.2	57.7	74.3	61.5	76.3
中の下位	19.5	13.5	30.6	17.1	23.4	15.8
下位	17.7	8.3	11.7	8.6	15.1	7.9
学習塾タイプ	補習塾 (250)	進学塾 (137)	補習塾 (246)	進学塾 (135)	補習塾 (246)	進学塾 (135)
上位	12.8	40.9	19.9	30.4	17.9	43.0
中の上位	47.2	43.8	37.8	47.4	43.1	39.3
上位 + 中の上位	60.0	84.7	57.7	77.8	61.0	82.3
中の下位	22.4	7.3	30.1	15.6	24.4	9.6
下位	17.6	8.0	12.2	6.7	14.6	8.1
学習塾での学習時間	3時間未満 (349)	3時間以上 (97)	3時間未満 (343)	3時間以上 (97)	3時間未満 (343)	3時間以上 (97)
上位	14.6	43.3	19.5	36.1	20.4	43.3
中の上位	48.7	42.3	37.6	49.5	40.5	43.3
上位 + 中の上位	63.3	85.6	57.1	85.6	60.9	86.6
中の下位	20.3	7.2	29.4	14.4	23.9	10.3
下位	16.3	7.2	13.4	0.0	15.2	3.1

注1)「学習塾の利用」で「通塾」は「行っている」を、「非通塾」は「行っていない」を選択した児童。

注2)「週あたりの通塾日数」で「1～2日」は「1日」「2日」を、「3日以上」は「3日」「4日」「5日」「6日」「7日」を選択した児童。

注3)「学習塾のタイプ」で「補習塾」は「学校の勉強がわかるようになるための学習塾」を、「進学塾」は「私立中学校や国立大学の附属中学校を受験するための進学塾」を選択した児童。

注4)「学習塾での学習時間」で「3時間未満」は「30分くらい」「1時間くらい」「2時間くらい」を、「3時間以上」は「3時間くらい」「4時間以上」を選択した児童。

注5)数値部分のアミかけは「上位」と「中の上位」の合計の差が10%以上のもの。

注6)（ ）内はサンプル数。

②習い事・おけいこ事と学力

学力階層の違いによって、習い事やおけいこ事の利用率に差がある。算数の学力階層別にみると、「音楽」「スポーツ」「英語」などで学力上位層ほど利用率が高い。同様に、国語の学力階層の「上位」と「下位」の差をみると、「スポーツ」の差は小さくなる一方で、「音楽」「英語」に加えて「習字」でも大きな差が生じている。これらは、学力階層が「上位」であるほど利用率が高い。



あなたは、おけいこや学校外のクラブに行っていますか。

学力階層の違いによって、習い事やおけいこ事の利用率に差があった（表3-1-12）。「上位」と「下位」の違いに注目して考察を進めると、まず、2教科合計では、「音楽」（「上位」43.6%対「下位」14.1%）、「習字」（24.7%対12.3%）、「英語」（24.2%対8.4%）で差があり、いずれについても上位層ほど利用率が高い。

算数では、「音楽」（34.8%対18.2%）、「スポーツ」（47.1%対35.5%）、「英語」（20.3%対11.7%）などで利用率に差があり、ここでもいずれについても学力が高いほど利用率が高い。

国語では、「音楽」（48.6%対11.6%）、「習字」（31.2%対12.5%）、「英語」（25.2%対9.7%）で差があり、ここでもふたたび学力上位層ほど利用率が高い。国語については、学力上位層と下位層で差が非常に大きくなっているのが特徴である。また、「上位」と「下位」の差について、教科による特徴をみると、算数で「スポーツ」の差が大きく、国語で「習字」の差が大きい。

最後に、「何もしていない」に関しては、2教科合計、算数、国語ともに、学力階層が「下位」の子どもが「上位」の子どもに比べて2割ほど多くなっている。

表3 - 1 - 12 習い事・おけいこ事（学力階層別）

（％）

	算 数				国 語				2教科合計			
	上位 (187)	中の上位 (621)	中の下位 (311)	下位 (231)	上位 (218)	中の上位 (497)	中の下位 (416)	下位 (216)	上位 (227)	中の上位 (515)	中の下位 (371)	下位 (227)
音楽	<u>34.8</u>	30.6	<u>18.0</u>	18.2	<u>48.6</u>	25.8	21.9	<u>11.6</u>	<u>43.6</u>	28.2	19.9	<u>14.1</u>
習字	21.4	23.3	19.9	14.3	<u>31.2</u>	22.1	17.5	<u>12.5</u>	<u>24.7</u>	24.1	18.9	<u>12.3</u>
そろばん	13.9	12.2	9.0	8.2	11.5	12.3	9.4	10.2	12.8	11.1	10.8	9.3
スポーツ	<u>47.1</u>	46.2	43.4	<u>35.5</u>	40.8	47.1	44.5	38.9	42.3	<u>47.0</u>	44.7	<u>36.6</u>
英語	20.3	20.1	12.9	11.7	<u>25.2</u>	19.5	13.2	<u>9.7</u>	<u>24.2</u>	21.0	12.4	<u>8.4</u>
絵	2.7	2.7	1.9	3.0	4.1	1.4	3.8	2.3	2.6	2.5	2.4	3.1
バレエ、ダンス	3.7	3.5	3.2	2.6	4.6	4.8	1.7	1.9	3.1	4.7	3.0	1.3
その他	<u>34.8</u>	26.2	21.9	<u>19.0</u>	<u>33.0</u>	28.0	20.7	<u>18.5</u>	<u>37.0</u>	26.0	19.9	<u>19.4</u>
何もしていない	<u>9.1</u>	15.3	19.6	<u>29.9</u>	<u>11.9</u>	13.3	21.2	<u>29.2</u>	<u>9.7</u>	15.0	19.9	<u>30.4</u>

注1) 複数回答。

注2) 下線は10%以上差があるもの（最大値と最小値）。

注3) () 内はサンプル数。

③メディアの利用と学力

パソコンやインターネットの利用に関して学力階層による差があり、上位層ほど家や学校でパソコンに触れたり、インターネットを使って何かを調べたりすることが多い。その他のメディアに関しては、学力階層による差は小さい。



パソコンやテレビなどのメディア（機械）についてお聞きします。

表3-1-13をみると、パソコンやインターネットの利用に関して学力階層による差があった。

2教科合計の学力階層別には、「家でパソコンを使う（「上位」71.8%対「下位」41.0%）」「家でインターネットを使って何か調べる（47.6%対20.7%）」と家でパソコンを使う割合やインターネットを使う割合が「上位」と「下位」でおよそ3割も違っている。また、「学校でパソコンを使う（89.4%対74.9%）」割合や「学校でインターネットを使って何か調

べる（55.1%対28.7%）」割合も「上位」のほうが「下位」よりも高くなっている。

同様な傾向を算数と国語の学力階層にもみることができる。

パソコン以外のメディアについては、「CD教材やビデオ教材を使って勉強する」「テレビやラジオの講座で勉強する」「家でパソコン用の学習ソフトで勉強する」「家でゲーム機用の学習ソフトで勉強する」とともに、それぞれの学力階層による差は小さかった。

表3-1-13 メディアの利用（学力階層別）

(%)

	算 数				国 語				2教科合計			
	上位 (187)	中の上位 (621)	中の下位 (311)	下位 (231)	上位 (218)	中の上位 (497)	中の下位 (416)	下位 (216)	上位 (227)	中の上位 (515)	中の下位 (371)	下位 (227)
家でパソコンを使う	<u>68.5</u>	60.1	52.4	<u>40.7</u>	<u>70.2</u>	60.0	50.2	<u>41.7</u>	<u>71.8</u>	60.4	49.3	<u>41.0</u>
学校でパソコンを使う	<u>88.2</u>	86.1	81.7	<u>75.3</u>	<u>92.7</u>	85.5	80.6	<u>75.4</u>	<u>89.4</u>	86.6	81.2	<u>74.9</u>
CD教材やビデオ教材を使って勉強する	36.9	39.5	37.0	38.1	41.3	38.0	37.7	35.7	33.4	42.1	36.1	37.0
テレビやラジオの講座で勉強する	20.3	20.3	15.7	22.1	23.0	18.5	19.0	18.1	21.2	19.2	17.6	21.1
家でパソコン用の学習ソフトで勉強する	19.8	18.0	16.4	17.3	20.7	17.3	17.1	15.3	19.8	17.8	15.6	17.7
家でゲーム機用の学習ソフトで勉強する	16.0	18.5	18.9	24.7	16.9	18.7	19.7	21.3	16.3	19.0	18.6	23.8
家でインターネットを使って何か調べる	<u>47.6</u>	35.1	26.7	<u>20.0</u>	<u>45.9</u>	37.0	25.2	<u>19.9</u>	<u>47.6</u>	37.3	22.9	<u>20.7</u>
学校でインターネットを使って何か調べる	<u>51.4</u>	46.7	40.5	<u>28.6</u>	<u>59.2</u>	45.5	38.7	<u>28.3</u>	<u>55.1</u>	47.4	38.6	<u>28.7</u>

注1) 数値は「よくある」と「時々ある」の合計。注2) 下線は10%以上差があるもの（最大値と最小値）。注3) ()内はサンプル数。